

# 海洋ごみによる環境教育の絵本化

福井県立若狭高等学校  
2年 上田真歩

## 1. これまでの活動

### 1.1 目的

海ゴミ問題について知るきっかけを作る。海を大切にすることを幼いうちから育てる。

### 1.2 背景

現在海ゴミ問題は深刻であり、大小さまざまな課題がある。それを解決するために、幼い頃からの環境教育が効果的だと考える。そこで対象を年中・年長の保育園児または小学校低学年にし、海ゴミについて知るきっかけとなる絵本を作ることにした。

### 1.3 仮説

生き物に海ゴミがどのような影響を与えるのかについての絵本は、子どもたちの「海を大切にしたい」という海を大切にしたい精神の育成に効果がある。

### 1.4 方法

絵本づくり

#### 1.4.1 絵本のテーマ設定

「海ゴミ問題と、私達にできること」

#### 1.4.2 キャラクターづくり

サバトラ柄の猫、若狭ぐじ、人魚など、若狭を連想させるキャラクターを入れた。親しみやすいキャラクターと絵柄を心がけた。

#### 1.4.3 ストーリーの構成、絵の簡単な下書き

現段階ではここまで。

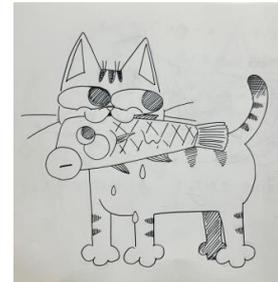


図1. 主人公

## 2. これからの活動の目的

### 2.1 活動

絵本の完成を目指して制作

### 2.2 目的

絵本の内容をより良くする。読みやすい絵本にする。

### 2.3 背景

絵本づくりは初めての試みであるため、わからないことだらけ。より楽しく読みやすい絵本にするにはどうしたらよいかプロに聞きたい。

## 3. 今後の展望

絵本作家のうしじまひろみさんに下書きを送ってアドバイスを頂く。わからないことを質問する。

- i 小さい子が読みやすい絵本の大きさ
- ii インパクトのために縦書きのページを入れたほうが良いか
- iii 話の流れが不自然でないか
- iv 絵本の完成を目指す
- v 本書きをしたり文章を打ち込んだりして印刷を行う。製本会社を探して本の形にする。

保育園または小学校低学年の子に絵本を読んでもらう。アンケート（内容は未定）を用意して回答してもらい、この探究が海や海ゴミへの関心に少しでも効果があったのか調査する。